

令和元年度事業報告

I 肢体不自由児の福祉の増進を図る事業を実施する。

1 肢体不自由児への理解と療育思想を広く県民に普及する事業

(1) 「友情の絵はがき」「愛の絵はがき」「トッキッキクリアファイル」等事業

【支出予算： 660,000円 支出決算：517,200円 予算－決算： 142,800円】

【収入予算：1,261,600円 収入額：882,940円 予算－決算： 378,660円】

(福) 日本肢体不自由児協会及び各県肢体不自由児協会の主唱により、全国展開された「手足の不自由な子どもを育てる運動」の一環として、寄付を頂いた方にそれぞれ「友情の絵はがき」・「愛の絵はがき」・「トッキッキクリアファイル(A4及びA5)」を返礼し、肢体不自由児に対する療育思想の普及を図るとともに、併せて、事業財源の確保に努めた。

協力依頼先	案内配布先件数	実績件数	愛の絵はがき(組)	友情の絵はがき(組)	A4クリアファイル	A5クリアファイル(2枚1組)	合計(組)	合計寄付金額(円)
庁内各課	98	78	24	13	225	80	342	53,450
地域機関	131	95	49	46	455	157	707	107,810
小学校	453	166	24	21	733	178	956	150,050
中学校	233	52	6	3	191	59	259	41,350
保育園・幼稚園	保育士会を通じて	2	0	0	2	0	2	300
高等学校	111	28	9	11	141	42	203	31,550
特別支援学校	37	25	9	6	194	69	278	44,400
障害関係施設・父母の会	1,057	34	13	5	173	44	235	34,170
警察	68	63	30	30	558	122	740	114,100
市町村・教育委員会等	108	31	27	16	356	131	530	83,900
看護協会	1	3	1	1	5	2	9	1,350
老人クラブ	93	4	0	1	87	2	90	11,750
病院	132	26	10	5	174	56	245	38,800
土地改良区	24	3	0	0	7	0	7	1,050
企業・大学・専門学校等	404	30	13	10	105	59	187	29,850
郵便局	日本郵便信越支社を通じて	12	13	7	53	35	108	16,950
自衛隊	5	2	0	0	11	2	13	2,050
社会福祉協議会	31	16	154	153	85	36	428	42,290
老人福祉施設	297	43	16	12	187	48	263	39,970
個人	40	12	1	1	16	16	34	5,800
銀行	260	11	0	0	18	10	28	4,700
学童保育等	790	1	0	0	140	0	140	21,000
消防・図書館(新規)	91	10	0	0	34	6	40	6,300
合計	4,464	747	399	341	3,950	1,154	5,844	882,940

(単位：円)

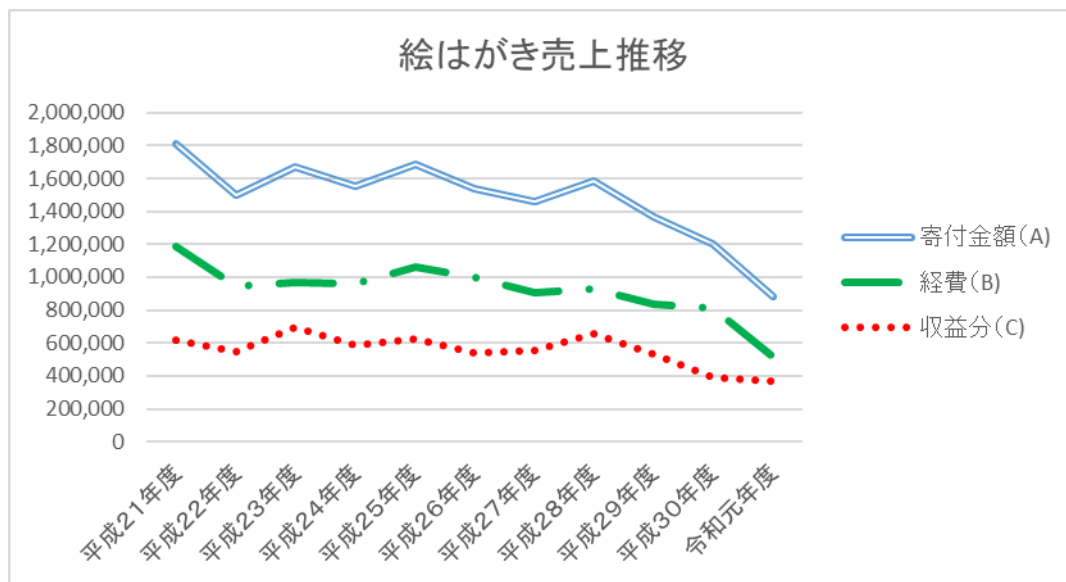
収入	支出			差引 (収益分)
	入金額	日肢協納入金及びクリアファイル作成代金	諸謝金 (デザイン料)	
882,940円	507,200円	10,000円	517,200円	365,740円

※日肢協納入金・・・愛の絵はがき、友情の絵はがき（各2枚組）各40円で（福）日本肢体不自由児協会より購入。

※クリアファイル作成代金・・・A4クリアファイルを@51.84、A5クリアファイルを@54で、それぞれ福祉作業所及び印刷会社で作成。

※発送代金はタオルと一緒に送っているため、タオルの支出に計上している。

寄付金の推移	寄付金額(A)	経費(B)	収益分(C)	C/A	備考
平成21年度	1,809,633	1,188,730	620,903	34%	はがき、クリアファイル、エコバッグ
平成22年度	1,498,167	947,159	551,008	37%	はがき、クリアファイル、エコバッグ
平成23年度	1,667,919	969,319	698,600	42%	はがき、クリアファイル、エコバッグ
平成24年度	1,551,799	962,687	589,112	38%	はがき、クリアファイル、3Dクリアファイル
平成25年度	1,682,625	1,059,006	623,619	37%	はがき、クリアファイル、3Dクリアファイル
平成26年度	1,539,291	997,825	541,466	35%	はがき、クリアファイル、3Dクリアファイル
平成27年度	1,459,057	904,199	554,858	38%	はがき、クリアファイル、3Dクリアファイル
平成28年度	1,585,694	931,687	654,007	41%	はがき、クリアファイル、折りたたみフォルダ
平成29年度	1,367,890	834,997	532,893	39%	はがき、クリアファイル、折りたたみフォルダ
平成30年度	1,205,572	812,294	393,278	33%	はがき、クリアファイル、折りたたみフォルダ
令和元年度	882,940	517,200	365,740	41%	はがき、A4クリアファイル、A5クリアファイル



(2) 「愛のタオル」事業

【支出予算：10,149,000円 支出決算：10,417,467円 予算－決算：△268,467円】

【収入予算：17,410,000円 収入額：16,955,461円 予算－決算：454,539円】

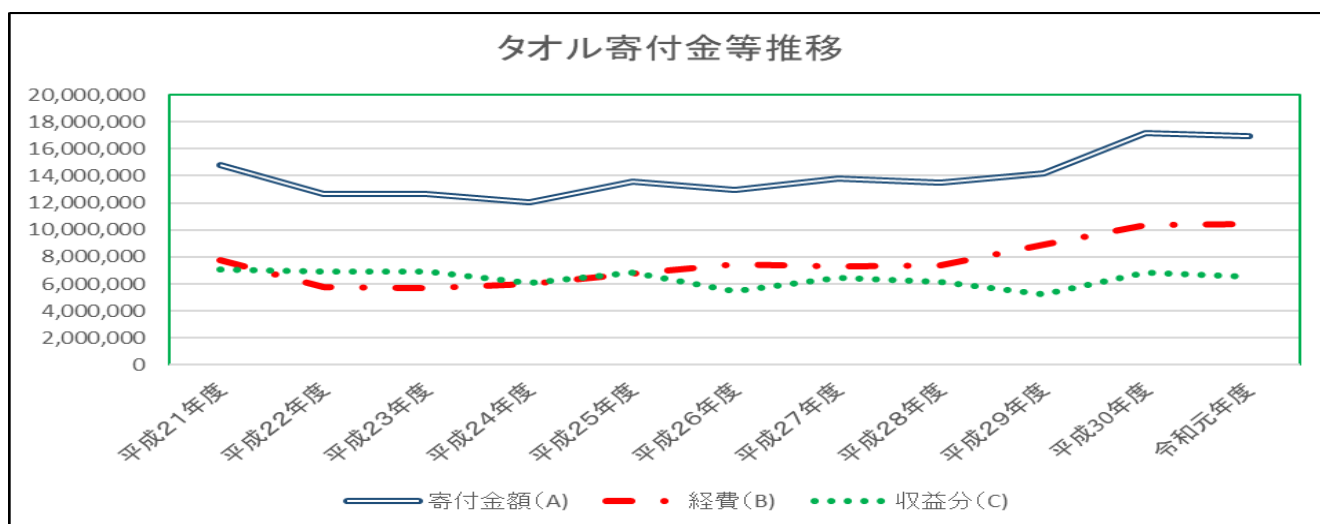
寄付を頂いた方に「愛のタオル」を返礼し、肢体不自由児に対する療育思想の普及を図るとともに、事業財源の確保に努めた。

協力依頼先	案内配布 先件数	実績件数	トッキ キフェイ スタオル (本) 500円	ヒヨコ柄 (本) 250円	猫柄 (本) 250円	H29作成 水玉柄 (本) 200円	H29作成 ネコ柄 (本) 200円	合計 (本)	寄付金額	寄付金の み(円)	合計寄付金 額(円)
庁内各課	98	90	914	586	709	0	0	2,209	780,750	8,119	788,869
地域機関	131	116	1,813	1,449	2,000	0	0	5,262	1,761,730	18,696	1,780,426
小学校	453	185	953	684	953	0	0	2,590	885,750	3,100	888,850
中学校	233	69	395	234	241	0	0	870	316,250	4,650	320,900
保育園・幼稚園	保育士会 を通じて	51	1,727	4,291	5,403	0	0	11,421	3,059,960	0	3,059,960
高等学校	111	36	374	333	374	0	0	1,081	363,750	2,850	366,600
特別支援学校	37	26	262	254	322	0	0	838	275,000	2,000	277,000
障害関係施設・父母の会	1,057	69	416	647	909	0	0	1,972	569,160	5,650	574,810
警察	68	64	2,002	1,344	1,460	0	0	4,806	1,702,000	0	1,702,000
市町村・教育委員会等	108	40	1,284	1,244	1,519	0	0	4,047	1,332,750	1,550	1,334,300
看護協会	1	3	8	35	53	0	0	96	26,000	0	26,000
老人クラブ	93	14	433	2,305	1,662	0	0	4,400	1,132,490	0	1,132,490
病院	132	38	1,115	1,864	2,258	0	0	5,237	1,588,000	35,702	1,623,702
土地改良区	24	17	93	104	118	0	0	315	102,000	0	102,000
企業・大学・専門学校等	404	62	447	690	706	0	0	1,843	571,960	13,700	585,660
郵便局	日本郵便 信越支社 を通じて	33	331	254	342	0	0	927	314,500	10,702	325,202
自衛隊	5	3	110	40	38	0	0	188	74,500	2,550	77,050
社会福祉協議会	31	29	244	547	666	0	0	1,457	399,770	10,440	410,210
老人福祉施設	297	117	747	1,249	1,484	0	0	3,480	1,050,850	2,730	1,053,580
個人	40	35	40	256	284	5	5	590	156,900	13,302	170,202
銀行	260	44	274	209	228	0	0	711	246,250	4,000	250,250
学童保育等	790	12	14	28	31	0	0	73	21,750	0	21,750
消防・図書館(新規)	91	13	101	58	68	0	0	227	82,000	1,650	83,650
合計	4,464	1,166	14,097	18,705	21,828	5	5	54,640	16,814,070	141,391	16,955,461

※障害関係団体、肢体不自由児者父母の会、社会福祉協議会、保育士会、老人クラブなどは取りまとめ手数料を20円割り引いた金額で返礼している。

収入		支出		差引 (収益分)
入金額	タオル購入代金	発送代金等	合計	
16,955,461 円	初回発注分(消費税8%)			
	フェイスタオル 13,000本×@259.2=3,369,600円 ヒヨコ柄 15,000本×@106.92=1,603,800円 猫柄 15,000本×@106.92=1,603,800円			
	追加発注分(消費税10%)	1,831,445 円	10,417,467 円	6,537,994 円
	フェイスタオル 2,000本×@264=528,000円 ヒヨコ柄 4,998本×@108.9=544,282.2円 猫柄 8,600本×@108.9=936,540円			
	合計 8,586,022円			

寄付金の推移	寄付金額(A)	経費(B)	収益分(C)	C/A	備考
平成21年度	14,827,782	7,772,495	7,055,287	48%	手ぬぐいタオル2種類
平成22年度	12,694,738	5,786,924	6,907,814	54%	手ぬぐいタオル4種類(昨年度在庫含む)
平成23年度	12,629,002	5,717,830	6,911,172	55%	手ぬぐいタオル3種類(平成21~22年度在庫含む)
平成24年度	12,060,105	5,965,298	6,094,807	51%	手ぬぐいタオル1種類
平成25年度	13,602,240	6,729,948	6,872,292	51%	手ぬぐいタオル3種類
平成26年度	12,955,101	7,486,581	5,468,520	42%	手ぬぐいタオル3種類
平成27年度	13,792,442	7,338,862	6,453,580	47%	手ぬぐいタオル3種類+昨年度在庫
平成28年度	13,496,472	7,378,146	6,118,326	45%	手ぬぐいタオル3種類
平成29年度	14,185,332	8,918,951	5,266,381	37%	手ぬぐいタオル3種類+昨年度在庫
平成30年度	17,168,291	10,348,319	6,819,972	40%	スポーツタオル1種類、手ぬぐいタオル2種類+昨年度在庫
令和元年度	16,955,461	10,417,467	6,537,994	39%	スポーツタオル1種類、手ぬぐいタオル2種類



(3) 肢体不自由児・者の書、絵画、写真などの作品展開催

(「ふれ愛作品展」開催事業)

【予算：294,000円 決算：441,130円 予算－決算：△147,130円】

第37回「肢体不自由児・者の美術展」入賞作品、「肢体不自由児・者のデジタル写真展」入賞作品をはじめとし、県内で募集した肢体不自由児・者の書、絵画等の作品の展示を行い、一般の人々の肢体不自由児者に対する理解の促進を図った。

(第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会応援事業、別紙記帳簿感想及び写真参照)

[新潟ふれ愛プラザ会場(新潟市)]

- ・期 日 令和元年8月20日(火)～令和元年8月25日(日)
- ・展示場所 新潟ふれ愛プラザ
- ・展示作品 第37回「肢体不自由児・者の美術展」特賞作品の一部及び
県内在住者入賞作品 ……21点
「肢体不自由児・者のデジタル写真展」特賞、金賞、銀賞及び
県内在住者入賞作品 ……32点
県内在住の肢体不自由児・者の作品 ……2点

[新潟市東区役所会場(新潟市)]

- ・期 日 令和元年9月2日(月)～令和元年9月6日(金)
- ・展示場所 新潟市東区役所 南口エントランスホール
- ・展示作品 第37回「肢体不自由児・者の美術展」特賞作品及び
県内在住者入賞作品 ……25点
「肢体不自由児・者のデジタル写真展」特賞、金賞、銀賞及び
県内在住者入賞作品 ……32点
県内在住の肢体不自由児・者の作品 ……1点

[新潟ふるさと村会場(新潟市)]

- ・期 日 令和元年9月13日(金)～令和元年9月25日(水)
- ・展示場所 新潟ふるさと村 アピール館イベントホール
- ・展示作品 第37回「肢体不自由児・者の美術展」特賞作品及び
県内在住者入賞作品 ……25点
「肢体不自由児・者のデジタル写真展」特賞、金賞、銀賞及び
県内在住者入賞作品 ……32点
県内在住の肢体不自由児・者の作品 ……1点

(4) 援護活動等が顕著な者を表彰する事業(肢体不自由児援護表彰)

【予算：155,000円 決算：97,572円 予算－決算：57,428円】

肢体不自由児の援護活動を推進するため、その活動に功績のあった者を表彰する事業であり、5名を表彰する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、開催を中止した。

なお、被表彰者には賞状、記念品等を郵送し、模範となる生徒の項目の県立東新潟特別支援学校2年 奥田 柊さんについては、令和2年度の表彰式で表彰することとした。

表彰事由	被表彰者
身体の障害にもめげず勉学や療育に励んだ肢体不自由児で、他の児童・生徒の模範となる方	新潟県立東新潟特別支援学校2年 奥田 柊 さん

長年にわたり、肢体不自由児の療育・指導に功績のあった方	新潟市 阿部 由美 氏
肢体不自由児の保護者として他の模範となる努力や研さんをされた方	長岡市 小林 治子 氏
	五泉市 神尾 紀子 氏
	新潟市 大野 紀子 氏

2 肢体不自由児に対して奨学金を給付する事業（肢体不自由高等学校奨学生採用事業）

【予算：915,000円 決算：666,448円 予算－決算：248,552円】

一般高等学校における肢体不自由児の就学活動を支援するため、1人あたり年額60,000円の奨学金を11名に交付した。（平成30年度：13名）

学 年	学校名	奨学生数 (人)	新規・継続
1年	敬和学園高等学校	2	新規
3年	敬和学園高等学校	1	継続（3回目）
1年	上越高等学校	2	新規
1年	新潟県立新発田南高等学校	1	新規
2年	新潟県立阿賀野高等学校	1	新規
2年	東京学館新潟高等学校	1	新規
3年	東京学館新潟高等学校	1	継続（3回目）
3年	新潟県立加茂高等学校	1	継続（2回目）
3年	新潟県立高田高等学校	1	継続（3回目）
合計		11名	

3 肢体不自由児の生活向上のための講習会等の開催事業

（1）肢体不自由児夏期訓練事業

【予算：351,000円 決算：331,880円 予算－決算：19,120円】

集団生活を通じ、子ども同士・親同士の親睦を図り、保護者等に正しい療育知識を習得してもらうための夏期訓練を、新潟県肢体不自由児者父母の会連合会に委託し、県内8団体が実施した。（平成30年度：8団体）

地区	実施父母の会	実施月日	実施場所	活動内容（課題、報告事項等）	参加人数
上越	上越市父母の会	8月21日 (水)	新潟県庁、BSN新潟テレビ放送局	県庁舎、警察庁社の見学、BSN新潟テレビ放送局の収録現場の見学等。	21名
中越	長岡市父母の会	8月18日 (日)	馬高縄文館、越後丘陵公園	バーベキュー大会 (暑い日差しの中、長岡丘陵公園内1.5キロの道を車椅子での移動。また、災害が起きた時の様子や日々の不安等情報交換)	20名
	柏崎市父母の会	9月28日 (土)	まちから（喬柏園）	体操、タオルゲーム、マッサージ、中越沖地震メモリアルの鑑賞、ピアノ及びフルートの鑑賞等。	48名
	小千谷市父母の会	6月12日 (水) 10月9日 (水)	講演会・視察会合・ピアノコンサート 長岡市立総合支援学校・長岡崇徳大学視察	ピアノコンサート及びピアノレクリエーション等。 長岡市立総合支援学校の長岡小中高等学校、長岡崇徳大学の視察見学、教授及び看護師に質疑応答。	20名 15名
下越	新潟市父母の会	7月31日 (水)	東区プラザ	調理実習、ヨガ教室 (会員の高齢化によって、親子での参加が難しくなっている)	19名
	燕市父母の会	9月3日 (火)	上越市立水族博物館うみがたり	水族館見学及び施設のバリアフリーの確認 (雨の中、屋根まで距離のあるところを移動したり、トイレにユニバーサルベッドが無く、子供用のみだったりと、バリアフリーへの課題が多かった)	24名
	新潟南区父母の会	7月26日 (金)	白根地域生活支援センター	保健師と親子で個別面談。健康チェックや健康相談。 ハンドアーチェリーやカラーライス作り、ミュージック・ケア等。	51名
	ぐみの会親の会	9月14日 (土)	江南区福祉センター きらとぴあ	動作学習法の確認及び指導、課題の改善等	23名
計（8団体）					延べ 241名

（２）学生ボランティア活性化推進事業

【予算：0円 決算：0円 予算－決算：0円】

他のサークル等と意見交換を行い相互の活動に対する理解を含め、ボランティア同士の連携を図ることを目的として、ボランティアサークルに所属する県内の大学生や専門学校生及び高校生を対象に「学生ボランティア講習会」を例年開催していたが、参加人数の減少に伴い平成29年度から休止中。

(3) ふれあいの集い開催事業

【予算：354,000円 決算：296,823円 予算－決算：57,177円】

肢体不自由児と地域の小・中学生の交流を通じて障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の理念の普及を図るとともに、肢体不自由児への理解と心のバリアフリーの育成を図ることを目的に、車椅子バスケットボールや障害者スキー教室を行った。

[車椅子バスケットボール]

- ・開催日時 令和元年8月3日(土) 9:00～15:30
- ・場所 新潟ふれ愛プラザ 体育館
- ・協力 東京ジュニア・キッズ車椅子バスケットボールクラブ(東京)
東京王子車椅子バスケットボールクラブ(東京)
そうかフレンズ(埼玉)
群馬ジーニアス(群馬)
横浜レジェンド(神奈川)
新潟WBC(新潟)
- ・内容 車椅子バスケットボールの試合
※ツインバスケットボールのルールを適応し、1試合20分。
- ・参加者数 65名(うち、肢体不自由児者 36名)
- ・所見 暑さ対策として、開催時間帯から冷房を入れて頂き、涼しい体育館を確保できた為、怪我や熱中症を起こすことなく終わることが出来た。また、大きめの給水タンクも2個用意して、選手や支援者全員が水分補給を行えたことも良かった。
今年で8回目を迎えたこの大会も、毎年新しい選手も増えて、車椅子バスケットを始めばかりの障がい児にとって日頃の練習の成果を発揮する良い発表の場になりつつある。今後も新潟県をはじめ各県の代表者と密に連携を図り、来年度も多く障がい児が有意義に活動出来るように努めたい。

[チェアスキーバイスキー教室]

- ・開催日時 令和2年2月8日(土) 10時～15時
- ・場所 赤倉観光リゾートスキー場(妙高市)
- ・主催 公益財団法人新潟県肢体不自由児協会、新潟県障害者交流センター、新潟県障害者スポーツ協会
- ・協力 日本チェアスキー協会、新潟県チェアスキー協会、(株)GTB
- ・講師 日本チェアスキー協会 野島 弘 氏、佐藤 光秀 氏
- ・内容 チェアスキー、バイスキーの基本的な乗り方から滑走方法を学ぶ。
また、ボランティアと共に行動して楽しい交流を図る。
- ・参加者数 肢体不自由児者8名、支援者25名、合計33名

- ・所 見 今年は例年に無い異常な雪不足の影響で、1月に予定していた須原スキー場での教室を中止して、日時・場所を変更して開催した。1月時点で開いているスキー場が上越地方しか無かったため、2月上旬に今後も降雪の期待される赤倉観光リゾートスキー場で実施した。当初予定していた参加者10名の内2名は、都合が付けられずキャンセルとなり、ボランティアも5名減った10名で実施した。この異常な雪不足は想定しておらず、来年度は実施を検討する段階で、不足の事態に備えた内容を想定したい。赤倉観光リゾートスキー場は、駐車場からゲレンデまでのアクセスが非常に良く、駐車場からチェアスキー、バイスキーそれぞれに乗り込み活動することが出来た。また、リフトも4人乗りが多く、スキー場も広いため、安全に活動することができた。毎年参加している参加者の中で、今年から介助がほとんど必要なく滑れる人も出てきており、講師陣も驚き、毎回続けることの大切さを再認識することができた。

(4) 肢体不自由児休日等支援事業

【予算：147,000円 決算：130,096円 予算－決算：16,904円】

肢体不自由児が自主性・社会性等を培い、有意義な休日を送れるよう、大学生などのボランティアによるレクリエーションの企画・運営を行った。令和元年度は台風や新型コロナウイルスの影響により、10月に予定していた「外出」（イオン新潟東店）と3月に予定していた「卒業式・感謝祭」が中止となったため、令和元年度は4回の活動となった。

課題として、参加できる学生ボランティアの固定化及び、参加人数の減少による運営の難しさや、エレベーターの設置がない会場での活動が困難だったこと等がある。

開催月日	実施場所	活動内容	参加者うち()は 肢体不自由児者数
6月22日 (土)	新潟市東区プラザ	交流会 (風船、的のゲーム等 レクリエーション)	16名(3)
7月13日 (土)	新潟市東区プラザ	夏祭り (屋台のレクリエーション)	22名(7)
12月14日 (土)	大形まちづくりセンター 集会室	クリスマスパーティー (雪合戦のレクリエーション、リース作り、サンタからのプレゼント贈呈等)	27名(8)
2月22日 (土)	新潟ふれ愛プラザ 研修室	鑑賞会 (よさこい・アカペラ・ ペープサート(紙人形劇)等レクリエーション)	29名(7)
計	4回(3カ所)		94名(25) (延べ人数)

上記事業以外にも、年間の事業開始前に学生ボランティアの講習会を行い、休日等支援事業や排泄介助について学んだ。

4 肢体不自由児に生活の意欲と活力を与える活動、団体への助成事業

(1) 肢体不自由児を激励するイベントに助成する事業

(肢体不自由児激励事業)

【予算：453,000円 決算：411,070円 予算－決算：41,930円】

肢体不自由児の生活に意欲と活力を与えることを目的に、本年度は11団体の保護者会等が行う事業に対して助成金を交付した。(平成30年度：11団体)

実施保護者会	事業名	実施月日	参加人数	助成金額 (円)
県立佐渡特別支援学校 PTA	ふれあいコンサート	9月24日(火)	110名 (4)	37,000
県立はまぐみ特別支援学校 ぐみの会	音楽鑑賞会(キラキラ オータムコンサート)	11月20日(水)	95名 (29)	37,000
県立上越特別支援学校 PTA	令和元年度 PTA レクリエーション	11月9日(土)	67名 (16)	24,888
見附市立見附特別支援学校 PTA	夏祭り	7月20日(土)	125名 (7)	37,000
はまぐみ小児療育センター 地域交流会 実行委員会	① あすか通所運動会 ② 地域交流会	①10月4日(金) ②11月7日(木)	①97名 (23) ②178名 (11)	37,000
県立柏崎特別支援学校	愛育会コンサート	10月11日(金)	71名 (13)	37,000
県立五泉特別支援学校	きらめき祭 (文化祭)	11月16日(土)	288名 (5)	37,000
県立新発田竹俣特別支援学校 いじみの分校 PTA	いじみのミニコンサート	11月21日(木)	61名 (13)	37,000
新潟県立吉田特別支援学校 重複学級父母の会	ICT機器を活用した 体験活動	令和元年12月～ 2月	25名 (7)	37,000
十日町市立ふれあいの丘 支援学校 ほほえみの会	①花火大会 ②クリスマス会	①8月2日(金) ②12月1日(日)	317名 (2)	37,000
県立東新潟特別支援学校 PTA	PTA親子クリスマス お楽しみ会	12月13日(金)	76名 (28)	37,000
計	11団体		1,510名 (158)	394,888

※参加人数のうち()は肢体不自由児者数

(2) 学生ボランティアサークルに助成する事業

(学生ボランティアサークル助成事業)

【予算：155,000円 決算：55,612円 予算－決算：99,388円】

主に肢体不自由児を対象としてボランティア活動をしている学生ボランティアサークルに対して助成を行い、サークルの支援と肢体不自由児の援護を図ることを目的として、1大学1サークルに対して助成金を交付した。(平成30年度：2サークルに助成)

(単位：円)

学校名	サークル名	助成金額
上越教育大学	「すぺしゃるさんくす」	50,000
計	1大学1サークル	50,000

(3) 障害者スポーツ参加促進事業

【合計予算：1,235,000円 合計決算：949,631円 予算－決算：285,369円】

ア. [スポーツ大会観戦等に助成する事業]

【予算：30,000円 決算：11,044円 予算－決算：18,956円】

特別支援学校及び障害児福祉施設を対象に、アルビレックス新潟のサッカー観戦希望を募り、チケットを無料で配付することで、障害者のスポーツへの参加促進を図った。

※チケットは新潟県障害者スポーツ協会を通じて、JA新潟県信連から提供されている。

- ・開催日時 令和元年7月6日(土) 19:00キックオフ
- ・場 所 デンカビッグスワンスタジアム
- ・内 容 アルビレックス新潟 対 大宮アルディージャ 試合観覧
- ・参加者数 2名(うち、肢体不自由児者 1名)

- ・開催日時 令和元年7月13日(土) 19:00キックオフ
- ・場 所 デンカビッグスワンスタジアム
- ・内 容 アルビレックス新潟 対 横浜FC 試合観覧
- ・参加者数 14名(うち、肢体不自由児者 4名)

- ・開催日時 令和元年9月14日(土) 19:00キックオフ
- ・場 所 デンカビッグスワンスタジアム
- ・内 容 アルビレックス新潟 対 東京ヴェルディ 試合観覧
- ・参加者数 2名(うち、肢体不自由児者 1名)

- ・開催日時 令和元年9月28日(土) 14:00キックオフ
- ・場 所 デンカビッグスワンスタジアム
- ・内 容 アルビレックス新潟 対 水戸ホーリーホック 試合観覧
- ・参加者数 10名(うち、肢体不自由児者 3名)

イ. [スポーツ用品等購入に助成する事業]

【予算：1,205,000円 決算：938,587円 予算－決算：266,413円】

肢体不自由児・者が参加できるスポーツに係る用具の購入費用に助成を行い、障害者スポーツの啓発・普及を図るとともに、障害者スポーツへの参加促進を図った。

(12団体及び学校に交付。平成30年度実績：12団体)

(単位：円)

団体名	過去の実績	購入用具名	助成額
県立新潟盲学校	平成 28 年度	ボッチャ用具一式 (ケンコーボッチャセット)	77,760
県立西蒲高等特別支援学校	平成 28、29 年度	マウンテンポールデラックスセット	87,156
十日町市立ふれあいの丘支援学校	平成 29 年度	ボッチャ用ランプス	38,880
(株)真友社 あすなろ	新規	バスケットボード、サッカーゴール練習 折りたたみ 2WAY 屋外室内	4,322
南魚沼市立総合支援学校	平成 29 年度	スタンダードタイプランプ、 アキュラシーゴール	100,000
NPO 法人 ジャパンパラダンススポーツ協会 日本車いすダンススポーツ連盟新潟県支部	新規	ダンス用車いす修理 (車輪交換一式)	100,000
NPO 法人 ささえ愛みんなの家	新規	バスケットゴール、バスケットボール	76,464
県立吉田特別支援学校 中学部保護者会	平成 27、30 年度	ボッチャボール、ボッチャ用ターゲット マット、ボールゲームターゲット、スカ ッドボーイⅡ、スカッドキッズ (的当て ゲーム)、ブラインドボール (鈴入り)	98,215
県立柏崎特別支援学校 愛育会	平成 28、 29、30 年度	ソフトフォームボール、ミニハードル、 エアークンプレッサー、カラーリング交 換用タイヤ	96,024
見附市立見附特別支援 学校	新規	フライングディスク、 アキュラシーゴール	46,440
県立はまぐみ特別支援 学校 ぐみの会	平成 29 年 度	バランストレーニング	91,800
県立佐渡特別支援学校	平成 28、 29、30 年度	ゴルフゴールポスト (ディスクゴルフ用ゴール)	98,496
		計 (12 団体)	915,557

(4) 肢体不自由児関係団体支援事業

【予算：471,000 円 決算：382,484 円 予算－決算：88,516 円】

ア. [日本筋ジストロフィー協会の活動に対する助成]

心身障害者の福祉の増進のため活動を行っている、日本筋ジストロフィー協会新潟県支部に対してサークル活動費の助成金の交付を行い、肢体不自由児者への支援を図った。

- ・開催日時 月 1 回開催 (6 月から 10 月)
- ・場 所 国立病院機構新潟病院内 希望の家及び療育棟ホール
- ・内 容 絵手紙の会 (5 回)
生け花サークル (5 回)
カラオケサークル (5 回)

- ・参加者数 31名
- ・対象者 進行性筋萎縮児・者
- ・助成金額 15万円（3サークル分）

イ. [車椅子寄贈事業]

（福）日本肢体不自由児協会を通じて高野山真言宗から車椅子寄贈の募集があり、関係施設等へ希望を取ったところ、選考から漏れてしまったため、希望のあった6施設及び学校へ当協会より車椅子を寄贈した。（希望の車椅子の現物を寄贈）

新潟県立東新潟特別支援学校	折り畳み式軽量介助車椅子
（福）長岡福祉協会 長岡療育園	アルミ製スタンダードタイプ車椅子（介助型）
新潟県立高田特別支援学校	アルミ製スタンダードタイプ車椅子（自走型）
児童発達支援 放課後等デイサービスあすなろ	アルコー歩行補助器（折りたたみタイプ）
新潟県立柏崎特別支援学校	浴用キャリー（肘掛け跳ね上げ式）
新潟県立川西高等特別支援学校	アルミ製スタンダードタイプ車椅子（自走型）

（5） 社会参加体験交流研修事業

【予算：71,000円 決算：42,858円 予算－決算：28,142円】

肢体不自由児者の社会参加活動体験を障害者と保護者それぞれの立場から発表し、今後の活動促進に役立てるとともに、社会とのふれあいを進める上での諸問題について意見交換を行い社会参加、社会交流の一層の向上を図ることを目的に事業を行った。

- ・開催日 令和元年10月8日（火）
- ・場所 燕市中央公民館
- ・主催 新潟県肢体不自由児者父母の会連合会
燕市肢体不自由児者父母の会
- ・後援 （公財）新潟県肢体不自由児協会
- ・参加者 社会参加体験障害者とその保護者
各地区肢体不自由児者父母の会会員
社会参加支援ボランティアなど 合計 41名
- ・体験発表 発表者 燕市肢体不自由児者父母の会
新潟市肢体不自由児者父母の会
（本人及び保護者による作業所やグループホームでの話）
- ・懇談（昼食）
- ・講演と意見交換 講演「事業所・利用者が共に歩み寄り、寄り添えれば」
- ・講師 （福）長岡福利会 長岡療育園 育生係長 サービス管理責任者
小林 まどか 氏

- ・所見 この事業は、父母の会連合会が主催して各市町村父母の会と協力して行っている。
 所感として、本当に困っている人達の声を伝えていくのが、当協会としての役割だと強く感じた。
 保護者の一番の悩みは「親亡き後、障がいのある子どもがどうやって生きていくか」であり、今回の講演でも長岡療育園の家族会の話でも、成年後見人の話題が頻繁に出てきた。

II 役員会等

- 監事会 第9回:平成31年4月26日(金)
 第1号議案 平成30年度決算監査について

- 理事会 第16回:令和元年5月10日(金)
 第1号議案 平成30年度事業報告書・収支計算書(案)について
 第2号議案 第16回評議員会について

- 書面表決:令和元年8月21日(水)
 代表理事互選に関するみなし決議

- 第17回:令和2年3月25日(水)
 第1号議案 令和2年度事業計画書・収支予算書(案)について
 第2号議案 第17回評議員会について

- 評議員会 第16回:令和元年5月28日(火)
 第1号議案 平成30年度事業報告書・収支計算書(案)について
 第2号議案 役員の選任について

- 書面表決:令和元年7月19日(金)
 理事の選任について

- 書面表決:令和元年7月26日(金)
 評議員の選任について

- 第17回:令和2年3月27日(金)
 第1号議案 令和2年度事業計画書・収支予算書(案)について

III その他法人会計に関わる事業

(1) 公益財団法人新潟県肢体不自由児協会ホームページの管理(継続)

【予算:118,000円 決算:193,370円 予算-決算:△75,370円】

本協会のホームページの管理を行い、事業内容の周知に努めるとともに各種事業の参加促進及び肢体不自由児に対する愛護療育思想の普及に努めた。

URL: <http://www.shinshikyo.org/> メールアドレス: sinsikyou@r3.dion.ne.jp

(2) 関東ブロック連絡協議会

【予算：50,000円 決算：58,354円 予算－決算：△8,354円】

毎年持ち回りで開催している関東ブロック連絡協議会を、千葉県、群馬県、茨城県、神奈川県を招いて、情報交換を行った。

茨城県と神奈川県は、県からの委託事業も受けているため、独自の寄付金収益はあまり多くないが、群馬県と千葉県は収入事業のほとんどを当協会と同じく各県独自で作成したクリアファイルやメモ帳等の寄付金収益で賄っている。

各県共通の課題として、寄付金の減少や、振込手数料等の増額による支出の増加などが上げられた。令和2年度に向けて、群馬県と千葉県と当協会で作成したクリアファイルをそれぞれ相互に返礼することで、各県力を合わせて寄付金収入の増額や協会の維持運営を目指していくこととし、令和2年度は千葉県で関東ブロック連絡協議会を開催する予定である。

IV その他

(備品の現状)

令和2年3月31日現在

(単位：円)

品名	取得年月日	使用場所	取得額	残存額
ボールプール1※	H10.6.24	新潟県障害者交流センター	724,500	1
ボールプール2	H20.2.22	新潟県障害者交流センター	200,000	1
基本体技台セット一式	H11.8.24	新潟県障害者交流センター	199,900	1
イベントアップシステム1※	H12.6.16	新潟県障害者交流センター	685,020	1
イベントアップシステム2	H19.9.6	新潟県障害者交流センター	224,000	1
東芝パソコンデスク3	H26.12.22	新潟県肢体不自由児協会	104,760	1
ソフトウェア(協会ホームページ)	H28.8.10	新潟県肢体不自由児協会	400,000	106,667
計			2,538,180	106,673

※・・・寄附金付お年玉付郵便葉書等配分金で購入。

新潟県障害者交流センターに置いてあるボールプール等は現在も使用されている。

